

あきつ

2021年4月15日発行

第 629 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子

新しい年に、「新しい歌」を、
高らかに歌いつつ、進もう！

理事長 飯野順子

令和3年度、社会福祉法人天童会は、「SLPセンターアーク」の開所によって、地域社会への包括的な支援を担う法人となりました。在宅生活を支援する拠点となることをも目指す節目の時です。

本誌「あきつ」の第一号（昭和41年）の発刊の言葉として、創始者草野熊吉は「思えば苦しいけれども幾歳月でした。余りにも薄幸な重症心身障害児に、少しでも陽の光を与えたいものと、念願して8年。漸く政府もこれに着眼してくれただので、ホッとしました。しかし、手放して喜びには未だ早い感じがします。一段と努力せねばならぬ数々の課題が残されてあります。」と書いています。

道なき道を踏み分け、幾多の困難を乗り越えて、新たな道を創り、信念を貫き通したその精神的なバックボーンを、今こそ生かす時と思っています。



現在は、昭和33年の創設当時と状況は全く異なりますが、これまでに出会ったことのないような先行き不透明な状況として、出口が見いだせない閉塞状況の中で、進むことを余儀なくされています。残された数々の課題は何かについては、新たな追求が必要です。その際必要なのは、先見性とフロンティア精神です。今年度も、時は流れてゆきます。その流れの中で、「きわまりなき希望に励まされて、日に日に新しい歌を歌いつつ進んでゆこう。沈滞を知らないように、静かに絶え間なく、まだ見ぬ新生面が展開されていく」（羽仁もと子）という言葉に励まされて、燦爛とした「陽の光」を園生にそして地域社会にもたらすために、日に日に新しい歌を歌いつつ、大きな深呼吸をして、歩み続けて行きましょう。



子どもの複合施設

OPEN

SLPセンターアーク しました

詳しくは をご覧ください

- 重症心身障害児者施設 ● 秋津療育園
- 秋津療育園 ● 通園センター
- 秋津療育園 ● 相談支援センター
- 秋津療育園 ● 障害児歯科外来



社会福祉法人
天童会

- 子どもの複合施設 ● SLPセンターアーク
- SLPセンター ● 児童発達支援センターマイム
- SLPセンター ● アーク子どもクリニック
- SLPセンター ● アーク子ども相談センター
- SLPセンター ● エメット保育園





社会福祉法人 天童会
こどもの複合施設
SLPセンターアーク

189-0002 東京都東村山市青葉町3-9-33

☎(代)042-306-3712 FAX 042-306-3713

アークこどもクリニック ☎042-313-0461 FAX 042-313-0462

児童発達支援マイム ☎042-306-3712 FAX 042-306-3713

アークこども相談センター ☎042-306-3714 FAX 042-306-3713

エメット保育園 ☎042-394-9628 FAX 042-306-3713

2021年2月未就学児を対象とした、こどもの複合施設「SLPセンターアーク」を開設しました。

SLPセンターアークの理念は、「地域のすべての子どもたちが、安心できる環境で、こどもらしく過ごし、生きる力と個性を大切に、未来につながる可能性を支援いたします。」です。

場所は、秋津療育園より徒歩5分の緑豊かな場所にあり、木を基調とした建屋の中に、4つの事業を展開しています。

- ①アークこどもクリニック
- ②児童発達支援センターマイム
- ③アークこども相談センター
- ④エメット保育園 (こひつじ園より名称変更)



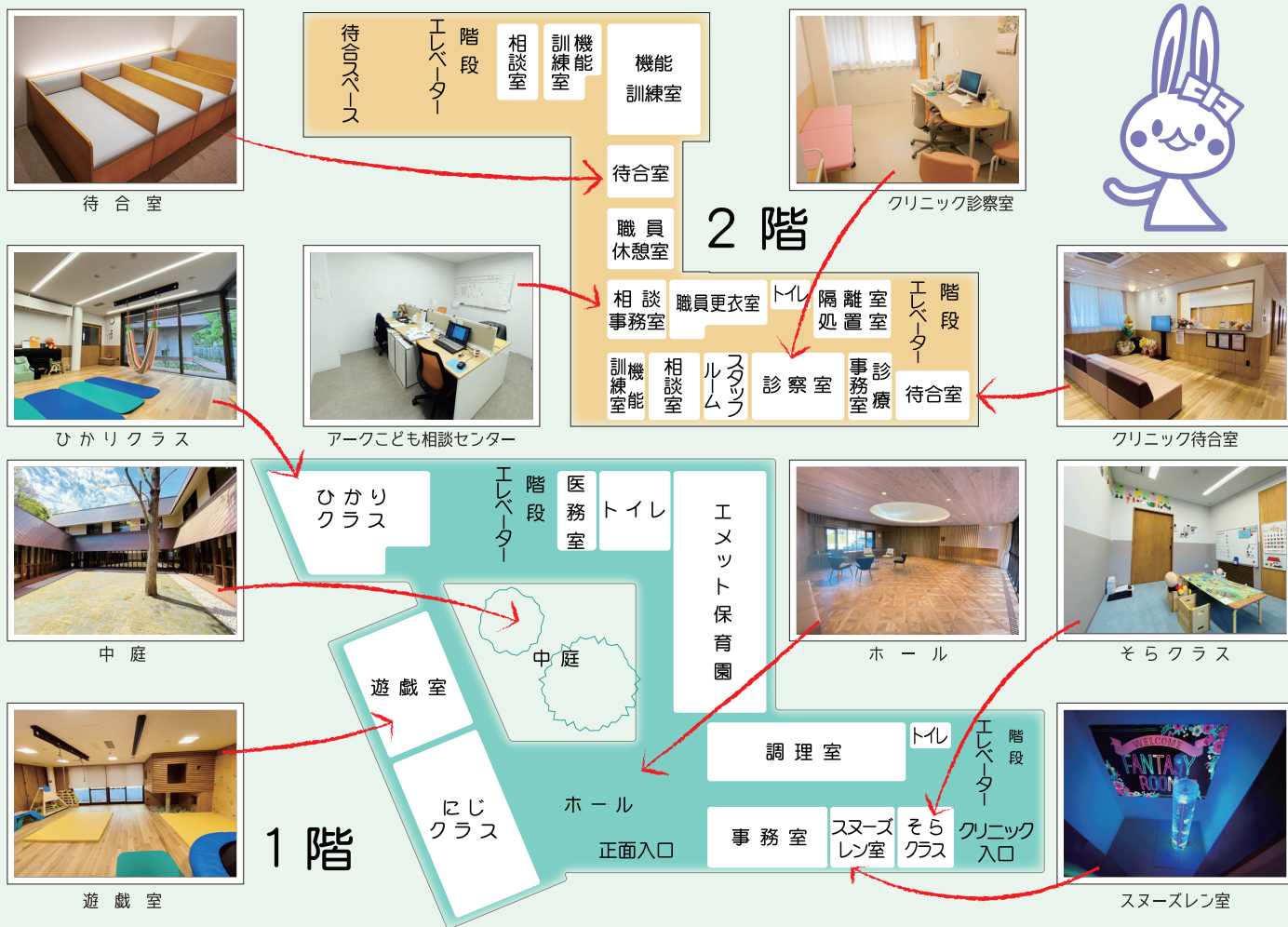
医療的ケアや特性があっても、地域の子どもたちと共に成長できるよう、様々な専門職を配置しました。

1階は中庭を取り囲んで0~2歳児の保育園と、0~5歳児の障害児通所のクラスがあり、子どもたちが活動の中で自然と交わる環境にしました。

2階は、小児科のクリニック(一般小児・小児神経内科・リハビリテーション科)と障害児の相談支援センターがあり、センター全体で地域のこどもの発達を支援する体制を整えています。

コロナ禍で竣工式や関係機関へのご挨拶も十分できないままの開所となってしまいました。この場をお借りして、ご挨拶申し上げます。

センター長 渡会 博子



*見学随時受付中です。お気軽にお問合せください ☎ 042-306-3712



今年は3人の方が卒業式を迎えました
おめでとうございます!(1・2棟)

Sさんの入所式 通園歌「ラララ通園」
を歌ってお祝いました。これから
よろしくお願いします。(通園センター)

クリスマスに出来
なかったケーキ会
をしました(2棟)

お花見をしました
(1・2棟)

福笑い 作っている最中も
完成後もおもわず笑ってしまう
作品が出来たようです(3棟)

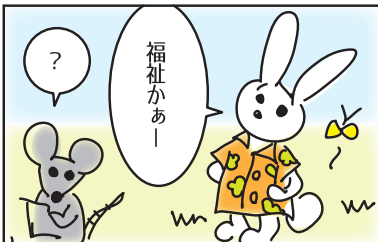
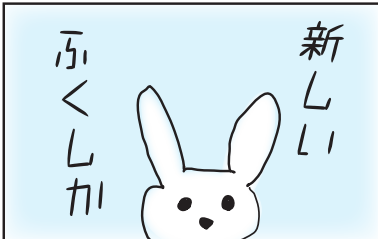
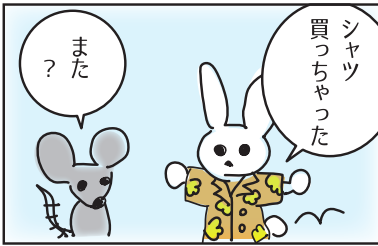
月に1度の音楽会
それぞれの楽しみ方で
参加しています(3棟)

ホワイトデー 壁にお互いが手紙を貼って
それぞれの思いを伝えました。(3棟)

シャボン玉しました(^^) (4棟)

お誕生日おめでとうございます。
(2棟)

100日後に就職するうさぎ 第3話
作・早川里英



ドライブ取組みで **桜** を見ってきました

1 サクラタウン前
2 金山公園
3 大沼田橋
4 全生園
5 東村山駅前通り
6 下堀公園
7 東村山6中
8 消防署前

柳瀬川
東所沢駅
東所沢線
小金井街道
秋津駅
新秋津駅
西武池袋線
志木街道
清瀬駅
空堀川
秋津療育園

コロナ禍
利用者さんと回った
さくらのポイントを
をご紹介します

古い写真や文献の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

秋津アーカイブス

当園に入所しているTさんの甥である高地恭介さんが、第三回「藤村文学賞」の中学生の部で、最優秀賞を受賞された時の物です。全文を3回に分けて掲載いたします。今回は、その最終回です。

「おばさんの日記」第3回(全3回) 高地 恭介

そして家に帰るとTおばさんは、ワープロで日記を書きます。日記は毎日違う内容です。毎日の日記の内容が違うということは、一日一日を一生懸命生きているという事です。Tおばさんは、たとえ不自由な所があっても、つらくても、決して不幸だとは思っていないと思います。

Tおばさんは、一日一日、一生懸命生きているので、一日がとても楽しいと思います。それに比べて僕は、一日を、何気なく過ごしてしまっている日があります。そんな日は、日記に何も書くことがないので、白紙で終わってしまうでしょう。

Tおばさんは毎日内容が違っているという事は、一日一日、前へ前へと進んでいます。たとえつつつかい棒があつて後ろへ下がったとしても、くしけずに前へ進んでいくと思います。

Tおばさんが帰って来ている間、とても楽しく過ごせます。八日間の短い間だったけど、Tおばさんは、いろいろな事を置いて行ってくれたと思います。これから夏休みが終わって、学校に行くけど、一日一日を楽しく過ごして、前へ前へと進み、毎日の日記が夕飯のおかずだけにならない、内容の違った日記が書ける毎日になりたいです。

(平成9年6月1日発行「あきつ374号」より)

「寄付

山本鐵子様、峯村あい子様、鈴木二郎様、木幡紀美子様、堂本弥生様、深澤清時様、澤村愛様、余湖はれみ様、東村山教会様、霊南坂教会様、武蔵野緑教会様、一般社団法人東京馬主協会様、本町化学工業株式会社様、日本キリスト教団石神井教会様、石神井教会社会部 廣瀬一茂様、東村山市秋津ちろりん村様、学校法人明治学院様、女子聖学院様 皆様方の温かい御支援と御協力に、心より厚く御礼申し上げます。 社会福祉法人 天童会

編集後記

今年も桜が咲きました。私はこの季節をもう1つのお正月と思っています。桜はコロナをも忘れさせてくれる時間をくれました。その桜も散り、また現実が帰ってきたようです。さて今号は新しく開設した「SLPセンターアーク」をご紹介します。新しい建物、新しい香り、そして新しい職員と利用者の方、だんだんとアークの香りに変わっていく様子を見守っていただけたら幸いです。(池田 雄)

あきつ 第629号

E-mail: jimukyoku@tendoukai.net

HP: http://www.tendoukai.jp

発行人/飯野 順子

発行/年4回 1・4・7・10月発行

